

中村支所管内より



あまくておいしいな 園児がイチゴ狩り体験

大用保育所の子どもたちは3月26日に、四万十市藤岡でイチゴを栽培する景平俊之さんのハウスにてイチゴ狩りをしました。イチゴの品種「紅ほっぺ」のほ場で子どもたちはパックを受け取り大喜びで次々と採っていました。食べるのも忘れて真っ赤で大きい実を入れすぐにパックは大盛りに。果汁いっぱい甘いイチゴを味わい、次はどれにしようかなと目を輝かせます。引率の先生や園長先生も一緒にイチゴ狩りをしてみんなで楽しみました。山盛りになったパックは、景平さんに品種名の載った透明のフィルムを張ってもらいました。お店で並ぶ商品のように、さらに大容量で子どもたちはにこにこ笑顔。大事そうに持っていました。大満足の子どもたちは帰りに景平さんにお礼を言い「また来るね」と言いながらバスに乗りました。

中村支所管内より



しまんと農法米2024年産スタート! 尾崎 哲也さん

満開の桜が映える4月1日、四万十市古津賀で水稲を約9ヘクタール栽培する尾崎さんは田植えを開始。9ヘクタールのうち農法米コシヒカリを栽培する田んぼにすいすいと苗を植えていきます。しまんと農法米は現在管内11戸の農家が取り組んでおり、尾崎さんは同農法米の始まった平成27年当初のメンバーの1人です。

化学肥料を減らし有機質肥料を使用。農薬も減らし、畦の草刈りには除草剤を使わず、四万十川を汚さないよう浅水代かき農法を取り入れる。これらがしまんと農法米の取り組み内容です。また、売り上げの一部は四万十川清流保全基金に寄付する仕組みとなっています。生産者にとっては作りがいがあり、消費者にとっては購入することで四万十川の保全活動に取り組む一員になります。生産者・行政・JA三位一体で作り上げたブランド米しまんと農法米はJAグリーン四万十店、ふれあい具同店にて販売中。ぜひお買い求め下さい。(商品のほかりフレットも設置しています。ぜひご覧ください。)

中幡多 地区から こんにちは

宿毛4Hクラブ 青空フェスタ開催!

宿毛4Hクラブはすくも84マリンターミナルで3月10日、第4回すくも青空フェスタを開催しました。青壮年部幡西ブロックもイベントを盛り上げようとトラック市で参戦!トラック3台分にたくさんの新鮮野菜を集め販売しました。

子どもたちが家族のために料理をつくるKIDSレストランでは午前と午後に分かれて24人の子どもたちが家族のためにフルーツパフェを作りました。また、青空レストランでは、地元で営む「土佐宿毛創作割烹 大松」の店主大江さんが、地元で採れた野菜を使ってランチをふるまいました。同クラブ員は「自分たちの作る野菜はJAを通し県外へ出荷する。地元の方にこそ食べてほしい」と青空レストランへの思いを話しました。大江さんは過去に知り合いの料理屋さんに言われた「漁に出たり野菜作ったり、生産者の皆さんは命をかけて作ってくれている。そんな思いをしながら関わってくれる人がいる食材の命を頂いているのだから高い安いは関係ないと思う」というエピソードを紹介。「こだわって作っている農家さんの素材を最大限に活かせるように作りました」と話しました。普段お店で出しているメニューではなく、全てこの日のために創作したものです。「茗荷と鰯 焼き茄子のタルタル仕立て」や「ケンボロー豚の低温ロースト大根塩たれ」、「魚介と文旦のロール寿司」など11品。事前予約で食事券を得ていた20人のみなさんは舌鼓を打っていました。

さらに沖の島水産による鰹のタタキの実演と無料提供。同クラブが地元野菜で豚汁を販売、すくも湾漁業協同組合の協力で魚の競り体験などたくさんのイベントが行われました。

文旦の詰め放題やイチゴの箱売りも大変賑わい、地元野菜や果物を箱詰めしたり豪華景品を準備したじゃんけん大会も盛り上がりを見せました。また、地元や四万十市などからキッチンカーや出店者も多く、来場者は買い物も楽しんでいました。

宿毛支所より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 地域 高知県年金友の会 ゴルフ大会開催



幡多地区から参加の皆さん。

JABANK高知は3月1日「年金友の会」の活動を通じ交流し親睦により同会の充実、活性化を図ろうと黒潮カントリークラブにて年金友の会ゴルフ大会を開きました。県下の会員や職員など157人が参加しました。順位賞の他、男女ベスグロ賞やニアピン賞、などさまざまな賞や参加賞も準備。幡多地区からも13人が参加し、そのうちベスグロ賞など5人が入賞しました。

3 地域 県内の新入学児童に 交通安全傘と横断旗を寄贈



後ろには春の野菜の絵が上手に描かれていました。

J A 共済連高知は、地域貢献活動の一環として毎年県内の新入学児童に「黄色い交通安全傘」と「横断旗」を寄贈しています。3月12日に、中村支所の佐竹支所長が四十市立大用小学校を訪問。弘瀬校長の立会いのもと2年生に進級した山本さんと新田さんが交通安全傘3本と横断旗4本を受け取りました。弘瀬校長は「毎年寄贈していただきありがたい。黄色は目立つので登下校の安全にも助かっている」と話しました。幡多地区では小学校38校に傘を493本と横断旗164本を寄贈しました。

6 宿毛支所 青壮年部幡西ブロック総会 やりたい活動をやろう



総会の始めに挨拶をする尾崎帝部部会長

青壮年部幡西ブロックは宿毛支所に於て3月28日、総会を開きました。事務局合わせて12人が参加。令和5年度の事業や収支決算を報告し、令和6年度の事業計画等について協議しました。また、会では高齢化等による部員の減少を止めようという意見が出ました。部員を構成するのは幡西ブロック管内に居住する男女、組織の目的に賛同する者です。青壮年部の活動に魅力を感じてもらおうには、今いるメンバーがやりがいをもって楽しんでいる姿を見せることとし、今年度の活動もより良いものに、そしてイベント等の来場者に楽しんでもらう企画を検討しました。

4 中村支所 終盤に向け現地検討会 中村支所イチゴ部会



イチゴの株の状態を見る部員の皆さん。

中村支所イチゴ部会は3月18日、管内のイチゴが出荷期後半に差し掛かったことを踏まえ、現地検討会を開きました。部員や高知県幡多農業振興センターを含め11人が参加しました。「おきみ」や「さちのか」などを栽培する4カ所のほ場を巡回し、各自の栽培管理状況を報告し病害虫発生の有無などを見ました。同センターが今後の病害虫対策、特に灰色かび病の予防対策やアザミウマ対策について説明し注意を呼びかけました。谷崎営農指導員はポットを使わない育苗資材を紹介。使用した場合は育苗資材の試算を示しキューブ型の培土を水に漬けるなどして部員の皆さんと協議しました。



セネガを検品する薬品会社の職員や会員の皆さん。

1 十和支所 ちんがい 去痰、鎮咳剤の原料 セネガ出荷

十和支所セネガ研究会は3月4日、同支所流通センターで7戸から令和5年度産のセネガを受け入れました。取引先の薬品会社が、生産者ごとに乾燥具合や汚れの有無などを検品し、892kgを出荷しました。セネガはヒメハギ科の多年草で、乾燥した根の部分を鎮咳去痰薬として利用されます。医薬品の原料として安定的に需要があります。1月～2月に播種し、11月下旬から12月に根を収穫し洗浄、乾燥後調整して出荷をします。同支所は30年以上前から出荷取引があり、同年度産は四万十町と三原村の計64アールで栽培。同会伊賀富一郎会長は「いかに上手に発芽させるかが大事。除草などの手間はありますが収穫期間が長く夏の乾燥にも強いので栽培しやすい。経費もかからない」と話します。集荷後に実施した薬品会社との意見交換会では、各会員は種の時期や発芽状況などを話し合いました。同会の中で「仲間を増やしたり面積を広げることでも大事だが、反収を伸ばして少しでも多く収量をあげ、これからも研究し1tを目標に取り組みを確認しました。



剪定の説明を聞く部員の皆さん。

2 宿毛支所 ブントンの 整枝・剪定講習会開催 宿毛支所文旦部会



剪定後

宿毛支所文旦部会は高品質な果実の生産、作業性の良い樹をつくることを目的に剪定講習会を毎年開いています。3月25日は部員やJ A、高知県幡多農業振興センターなど17人が参加しました。同センターの町田啓二専門員は、これまでの寒波や少雨など天候の影響を受けた樹勢の状態に応じ剪定量を判断するとし、太陽光が入り風通しを良くするように込み合った側枝などを間引き実演しました。町田専門員は「剪定に慣れても極端に切りすぎないこと。先にノコギリで一巡してからハサミ剪定実施を。同年枝や競合する枝は間引いて」と説明しました。また、秋期に灌水する地区と無処理の地区を比較実験した結果を報告。5月までの土づくりやカリウム欠乏症、生育障害の発生には土壌改良資材の施用を呼びかけました。部員らはかいよう病などに対する防除など管理作業を徹底し次年度への備えを確認しました。

初心者（家庭菜園）向け インゲン



栽培のポイント

- 連作をしない。酸性にやや弱いので石灰を散布して耕しておく。
- 豆類の中では高温を好むが、25℃以上の高温になると花粉の捻性が低下し、実どまりしにくくなる。
- つるあり種は、つるが伸びる前に支柱を立ててつるを絡ませる。遅れると、つるどうしが絡まってほどけなくなる。つるなし種は放任でよい。

●:は種 —:生育 ■:収穫

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付け計画				●	■	■	■	■	■	■	■	■

●:は種 —:生育 ■:収穫

●:は種 —:生育 ■:収穫

●:は種 —:生育 ■:収穫

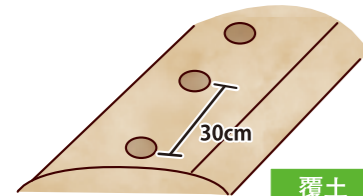
① 畑の準備

- 種をまく2週間前に、幅15cm深さ10cmほどの溝を掘って施肥し、高さ15cm幅80cmに畝立てする。
- 畝の長さ1m当たり堆肥5～6握り、油粕大さじ3杯、CDU555大さじ2杯。

② 種播き

- 種はよく膨らんだものを選び、割れたもの、皮のむけたものは使用しない。

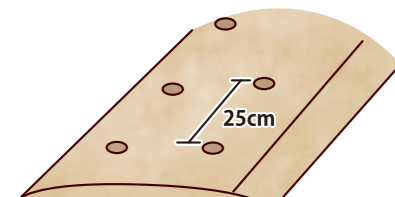
つるあり種 畝の中央に1条播き 株間30cm
1ヶ所に3～4粒ずつ播く
(品種:ケンタッキー)



覆土 ※深まきの場合、発芽揃いが悪くなるので注意する



つるなし種 畝に2条播き 株間25cm
1ヶ所に3～4粒ずつ播く
(品種:レインボー、キセラ)



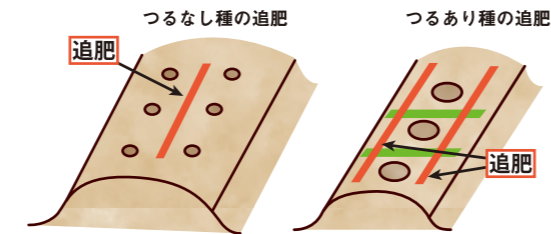
- 発芽後、混み合ってきたら間引きし、本葉2～3枚のころ1ヶ所1～2本にする。

③ 灌水

- あまり乾燥すると生育が悪く、特に開花期は乾燥の害が大きいので乾燥続きの時は適宜灌水を行う。

④ 追肥

- 1回目の追肥はは種後20～25日頃、間引きと同時に施用し、その後土寄せを行う。
- つるなし種は2週間後に2回目の追肥を、つるあり種は生育期間が長いので2週間間隔で数回の追肥を施す。
- ※1回の施用量は1株当たりCDU555を大さじ1杯とする。

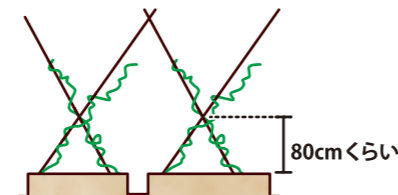


⑤ 支柱

- つるあり種は、は種後15日頃からつるが出てくるので、竹などを用いて支柱をする。
- つるなし種は放任でよい。

つるあり種の場合

つるあり種を長期収穫するには長い支柱を用い低い位置で交差させて上方を開き、先のほうまで手が届きやすいように立てておく。支柱の長さは2.2m以上



⑥ 収穫

- 種まき後、つるなし種で30～35日、つるあり種で40～45日で開花が始まり、その後約2週間で収穫できる。
- 収穫は莢に凹凸ができないうちに若どりするようにする。(長くおくと品質が悪くなる上、樹が衰弱して収量も少なくなるので)

役立つ! 得する! 情報 えいのう〜

幡多農業振興センターより

令和6年4月1日付 人事異動

【転入】

新所属 幡多農業振興センター	氏名	旧所属
次長 兼総務企画課長	宮田 裕也	紙産業技術センター 次長
農業改良普及課長	前田 丈司	農業大学校 副校長
総務企画課長	有田 幸代	幡多土木総務課 チーフ (総務担当)
基盤整備課 技師	田下 晋之介	幡多土木宿毛 技師
基盤整備課 技師	石山 汐音	幡多土木土佐清水 技師
農業改良普及課 技師	泉 淳稀	(新採)
基盤整備課 技師	今西 蓮	(新採)
【所内異動等】昇格		
基盤整備課 チーフ (基盤第一担当)	松倉 健	基盤整備課 主幹

【転出】

旧所属 幡多農業振興センター	氏名	新所属
農業改良普及課長	日浦 直之	果樹試験場 次長 兼専門企画員 (技能伝承担当)
基盤整備課 チーフ (基盤第一担当)	渡邊 誠毅	須崎農振 基盤整備課 チーフ (基盤第一担当)
農業改良普及課 普及指導員	渡邊 桐瑚	農業担い手支援課 主査
基盤整備課 主査	沖 颯太	土木部土木政策課 主査 愛媛県へ派遣
基盤整備課 技師	北村 聖也	幡多土木 技師
【退職者】		
次長 兼総務企画課長	宮田 和典	退職
総務企画課 チーフ (総務担当)	岩波 千代香	退職

※農業改良普及課普及指導員 公文 省吾は、在籍のまま石川県に派遣 (R6.4.1～R6.9.30)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「四国のホットな直販所、前回も合わせて四国四県の直販所せつたい行ってみよう」と切り取って保存しています。

(佐賀出張所管内・68歳)

「とさのさと」は高知に行った時1回だけ行きました。サニーマートの隣なのでとっても便利ですね。コロナからもう何年も高知に行っていないのでそろそろ高知に遊びに行きたい。

(中村支所管内・68歳)

「とさのさと」には行ったことがありますが、「あいさい広場」には行ったことがありません。今度ドライブがてらに行ってみたいと思います。楽しみです。

(大方支所管内・70歳)

JAファーマーズマーケットとさのさとの記事を読みました。今度高知でイベント等ある時に寄ってみたいと思います。

(中村支所管内・74歳)

「とさのさと」いいですね!! 料理を連想しやすいように工夫しているところもいいですね!

(宿毛支所管内・63歳)

「とさのさと」色々な旬、食材があり、高知に行った時に寄ってみます。

(大方支所管内・70歳)

▼2月号、3月号と四国の直販所をご紹介いたしました。各県を代表する農産物やいちおしの食材があり、各店長のお客様に喜んでいただけるような工夫やお店にかける熱意が伝わりました。季節ごとに行きたいですね。

「プランター栽培始めてみませんか」では、少ない場所でも「プランター」ならなんとか置きそうです。何を植えようかな。

(大方支所管内・55歳)

我が家でも「プランター栽培」やっています。ネギやリーフレタスを植えておくとすぐに間に合うので助かります。

(佐賀出張所管内・65歳)

プランターでコマツナ栽培に挑戦してみます!!

(中村支所管内・68歳)

家の庭先ですぐ出来そうな「レタスマックス」や「ねぎ」を栽培してみようかなと思います。今からいろいろ植えるのが楽しみです。

(大方支所管内・71歳)

▼3月号では、気軽に栽培を始められるプランター栽培をご紹介しました。おたよりを拝見しプランターで野菜を育てている方が多く、便利なおススメと教えていただきました。収穫だけでなく、日々の生長も楽しみの一つですね。私もミニトマトやペペリーフに挑戦しようと思います。

川柳のコーナー

夕日追い 今日散歩 もう少し

(中村支所管内・71歳)

ハネ野菜 産地料理で よみがえる

(宿毛支所管内・76歳)

JAグリーンふれあいの店具同店で焼き芋を販売しています

芯までしっとりほくほく♪
大人気の「紅はるか」と「シルクスイート」を使用しています。
おやつに♪ バニラアイスを添えてスイーツなどに♪ いかがですか。
みなさま、お待ちしております!

1本(税込価格) 150円～200円 (大きさにより異なります)

JAグリーンふれあいの店具同店 四万十市渡川3丁目1-29

TEL 0880-37-0777 営業時間 8:00～15:30

定休日 1月1日～1月3日



【お詫びと訂正】

広報誌3月号の掲載内容について、次のとおり誤りがありました。下記の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。
11ページ「幡多地区からこんには 上段」
食農教育活動 宿毛4Hクラブ・青壮年部幡西ブロック
講演を行ったのは宮本隆さんではなく、正しくは、宮本龍さんです。